

皇紀二千六百七十八年 初詣

平成三十年

参拝にお越しの皆様、明けましておめでとう御座います。雪の心配も有りましたが、雨だけで済む穏やかな元旦を迎えることが出来ました。今年も良い年であります様にお祈りいたします。鵜坂校区の還暦を迎えた人

還暦祝い 厄払い

たち12名がお祝いして頂きました。昔は六十歳まで生きるの



今年も良い年であります様にと手を合わせる参拝者

長寿格言に「還暦六十歳まだまだ若い、これからあなたの余生です」ともあります。四十二の厄払いで鵜坂の里からお越しになった人が居ました。今年一年、何事も無く過せませすようにと願いを込めて、お祓いを受けていました。厄払いは、年明けから節分までの間に行うことが多いようです。初詣の人たちは、帰りにおみくじや縁起物の破魔矢などを買っていました。破魔矢は、



太鼓が心地よく体に響きます

は大変なことで、生まれ年の干支（えと）に還る祝で、「生まれ直す」という意味から還暦と言ひ、赤ちゃんの赤いちやんちゃんこや帽子を贈って、お祝いしていました。

正月に弓の技を試す射礼に使われた弓矢に由来し、「はま（破魔）」は競技に用いられるのことで、そこから転じて、一年の好運を射止める縁起物ということで初詣で授与するようになりました。



紀元節祝歌を斉唱する皆さん

建国祭

二月十一日(日)「建国記



売店で忙しく動く巫女の皆さん

念の日」に皇紀二千六百七十八年にあたる建国祭が行われました。開式の辞の後、榎原神宮及び皇居に向かって遥拝し、国歌斉唱並びに「雲に聳ゆる高

安産・縁結びの神様

越乃大社 鵜坂神社

本神社では、しもと祭(尻打祭)という日本五大奇祭が行われていました。

神事の起源は、健康な子供が生まれるという平安朝の公家の遊びが伝わったもので、特に最近では、口コミで安産・縁結びの神社として、沢山の人がお参りされています。お友達同士でお参り下さい。



禰宜よりお祓いを受ける

千穂の...と紀元節祝い歌を斉唱しました。神殿では、禰宜による修祓及び献饌の祝詞をあげ、鈴払いをして戴き、全員で玉串奉奠を行いました。

祈年祭

鎮火祭

二月二十三日(金)十時より婦中方面団 鵜坂分団幹部、地区総代および奉賛会会員が出席して鎮火祭、祈年祭が行われました。

五穀豊穰と国の安寧を祈願し、小学生による浦安の舞が奉納されました。終了後、竹内鵜坂分団分団長より、防火に対する注意事項と各自自治体から団員が選出されていますが、団員がいな自治体があれば、ぜひとも選出下さい、とのお願いがありました。